

# 新富町立新田小学校

事業の実施時期：補助を受けた日から令和6年3月1日

## 活動の概要

循環型社会を実現するには、児童の発達段階に応じた適切な知識の定着と、自ら問いをもち解決を目指すカリキュラムが必要と考える。この考えの下、令和5年度、本校では社会科・総合的な学習の時間・特別活動（委員会活動）を通じた環境教育を計画し実践した。ここでは、子どもたちの学びを社会へ向ける奉仕活動へとつなぎ、保護者・地域への啓発を図ろうとした。

SDGsの視点：11「住み続けられるまちづくり」 12「つくる責任 つかう責任」 14「海の豊かさを守ろう」  
15「陸の豊かさを守ろう」 17「パートナーシップで目標を達成しよう」

## 1 学校の概要

開校150周年の歴史を誇る本校は、全校児童215名の中規模校である。平成24年度より中学校（生徒107名）との施設一体型の小中一貫校となり、新たな歴史を刻んでいる。

ここ新富町新田地区は、県央を流れる一ツ瀬川が作り出す肥沃な河岸台地に位置し、周囲は、整備された灌漑用水を基に広がる豊かな水田と、ビニールハウスを使った野菜の栽培等の農業を中心とした第一次産業が主要産業として営まれている。

学校では、以前より教育活動の中に4R活動を取り入れ、委員会活動での4Rをはじめ校外での廃品回収等の活動を地域でも展開していた。コロナ禍になり一切の活動が自粛され、職員の異動等で以前の状況を知る職員も減っている状況であった。

今回の環境教育指定を受け、改めて本校ができる環境教育は何なのか、足下から見つめ直す機会となった。

## 2 活動のねらい

○ 新富町の自然と産業に関する環境問題について、問題を発見し解決への計画を立て、自ら行動する力や4Rの実践を進んで行おうとする態度を育成する。

○ 持続可能な社会の形成のために、情報を収集し、まとめ、地域へ発信しようとする態度を育成する。

### 【SDGsの視点】

- 「11 住み続けられるまちづくり」
- 「12 つくる責任 つかう責任」
- 「14 海の豊かさを守ろう」
- 「15 陸の豊かさを守ろう」
- 「17 パートナーシップで目標を達成しよう」

## 3 活動内容

### (1) 授業による環境教育の実践

#### ① 第4学年【SDGs11、12】

第4学年では社会科「ごみのしよりと活用」（日本文教出版）の学習後、4Rの学習を発展的に扱った。

・ 4Rの発展的な学習

4Rの学習後、宮崎市にある特定非営利活動法人「みやざきエコの会」に依頼し、問題



【4R体験学習の様子】

解決的に4Rの学びを行った。買い物から資源とごみを分け、ごみの処理にもお金がかかることを理解させ、資源を分別する大切さを考えさせたことで、児童は4Rの大切さを実感し、4Rの推進が私たちの生

活をよりよいものへと変えることに意識を向けることができた。また、これから高学年を迎える児童は、4Rの基礎を身に付けることができた。



【4Rの学び】

決と関連付け、考えをまとめた。

- ・ 自ら考えの発表（保護者への啓発）  
参観日に、自らの問いと学びを保護者へ伝えた。ここで4RやSDGsについて、自らの考えを伝えることができた。



【参観日：第6学年】

## ② 第5学年【SDGs 11、15】

第5学年は社会科で「農業」を学習し、地域の産業に目を向け、「稲の栽培」「持続可能な農業」の視点で総合的な学習の時間による学びを展開した。

### ・ 稲の栽培

地域の産業を支える水田から、なぜこの地域で稲作が行われているのかを体験的・問題解決的に学んだ。ここでは、地域の人々が自然環境と溶け合い、ここでしかできない稲作を継続していることを学習した。

### ・ 持続可能な農業

新富町アグリストの協力の下、スマート農業として自動化されたハウス栽培の見学を行った。【見学の様子：第5学年】  
人の関わりを減らし、持続可能な農業を目指す技術や取組を理解できた。



## (2) 地域とつながる4R活動

委員会活動を通し、4Rで地域とつながり、活動を啓発することができた。

### ① 社会とのつながり

児童は、回収したキャップを、地域の企業へと届けることで、ワクチン提供の役に立つことが分かり、4R活動が社会貢献につながることを理解した。また、校内に活動の掲示コーナーを設けたり、お昼の放送で状況を報告したりすることで活動の啓発を行うことができた。



【委員会活動】

### ② 地域への啓発

これらの活動を学校HPへの掲載することにより、本校の4R活動の取組や活動の趣旨を地域へと広めることができた。

## ③ 第6学年【SDGs 11、14、17】

第6学年は総合的な学習の時間で「SDGsと地域の諸問題と解決策をさぐる」学びを展開した。

### ・ 地域の問題を知る

新富町役場生涯学習課の協力を得て、地域についての理解を深めた。

- ・ 諸問題を体験する海岸を守る清掃活動等を体験し、自ら環境を守るための方法を考えた。

### ・ 課題解決の取組

SDGsについて知り、自分の疑問の解

## 4 成果と課題

### <成果>

- 4Rを基本とした学習体系を構築できた。
- 児童に、進んで4Rを実践しようとする意欲をもたせることができた。

### <課題>

- 継続していくための研修や体系化された年間計画を整備する必要がある。

学校名：新富町立新田小学校

住所：児湯郡新富町新田 7717 番地 1

電話番号：0983-33-1014

E-mail：1536ec@miyazaki-c.ed.jp